



マフクロ (5月下旬～6月下旬)



ヒオウギアヤメ (6月上旬～7月上旬)



シキョウ (6月中旬～7月下旬)



イワベンケイ (6月下旬～7月下旬)



ウツギ (7月上旬～7月下旬)



ミヤマアズマギク (7月上旬～7月下旬)

# 最北のワンダーランドをめぐり楽しむ。

## ●利尻山の創世

深田久弥の名著「日本百名山」の最初に紹介されているのが、日本最北の名峰・利尻山です。標高1,721mの利尻山は、火山によって島の基盤が形成され、その後の噴火で現在の山容ができあがりました。山頂付近の荒々しい形状は、火山によるものではなく、最北の厳しい風雪により山肌が浸食、崩壊を繰り返してできたものです。最北の日本海を眺望できる景観はみごとですが、山頂付近は経験のない登山者には大変危険なところであることを充分理解してください。

## ●天候急変の山

離島のため北海道の内陸部とは違った気象条件です。5～6月頃までは天気の良い穏やかな日が続きますが、観光シーズンの7～8月は天候がめまぐるしく変わります。霧も発生しやすく、風のある日の山頂付近は寒いほどの体感気温となります。

## ●国立公園保護地区

利尻島は昭和49(1974)年に全国で27番目となる自然公園、利尻礼文サロベツ国立公園に指定されました。国立公園は、その自然の特徴や景観の質により、特別地域及び普通地域などに区分され、保全しています。

DATA

- 利尻島の周囲／約60km(鷺泊～沓形間12km／バス)
- 利尻島の面積／約183km<sup>2</sup>
- 緯度・経度／北緯45度・東経141度

## ●利尻島の気象メモ

**5月** 平均気温9度。朝夕は肌寒いですが、日中は日差しも強く暖かい日が続きます。山頂付近にはまだ深い雪がありますが、裾野ではミズバショウが開花しています。

**6月** 平均気温12度。霧や雨の日が多い時期です。森の中は新緑が鮮やかですが、散策にはカーディガン、トレーナー、ジャンパーが欠かせません。

**7月** 平均気温17度。島のいたるところで野草が見られます。観光シーズンのピークとなり、宿は混雑します。この時期に観光や登山を計画する場合は早めの予約が必要です。日中は夏服で問題ありませんが、朝夕は涼しいので軽くはおれるカーディガンかジャケットなどを用意するとよいでしょう。

**8月** 平均気温18度。7月下旬から8月上旬に「北海島まつり」(利尻富士町)、5・6日には「利尻浮島まつり」(利尻町)が開催されます。

**9月** 平均気温15度。紅葉が始まり、利尻山は錦絵を思わせる素晴らしい景観となります。

**10月** 平均気温10度。朝晩かなり冷え込みます。この時期の登山は冬山並みの装備と準備が必要です。中旬頃には北から渡来する渡り鳥の群れが数多く見ることができます。9月下旬から10月上旬にかけて初冠雪が見られ、美しい雪化粧の利尻山を楽しむことができます。



